

島村原子力政策研究会資料の印刷・配布について

平成20年6月
文部科学省研究開発局
原子力計画課

故島村武久元原子力委員が、委員退任後の1985年から94年に掛けて原子力政策研究会を開催され、原子力関係者を講師として種々の課題についての勉強会を持たれ。その内容が録音テープとして残され、(財)日本原子力文化振興財団に保管されていた。

ただし、録音資料の形では情報の活用不便であり、これを文書化することが適当と考えられたので、伊原義徳元原子力委員が、その内容を聞き取った結果、必要性大、中、小不要に分類した。

このうち重要度の高いものの文書化がなされ、監修委員会(代表者:伊原義徳、委員:森 一久、遠藤哲也、浜崎一誠、林 弘)の監修を経て、34テーマの文書化が完了しました。

本資料は、文部科学省の行政参考資料として同省に保管・活用されるものでありますが、島村武久氏が本研究会を持たれた趣旨は、わが国における原子力研究開発利用の歴史を、主として政策の面から俯瞰し、散逸されがちな資料と証言とを止めることにより、何が問題であり、何が解決し、何が遺された問題であるかを、特に若い世代に伝えておきたいということであったと推察される。直接原子力を担当された方々による、大変貴重な証言であるので、21世紀におけるわが国原子力研究開発利用の問題解決に当たっての参考として、今後大いに活用されることを期待し、現在文書化の完成している35テーマについて、印刷製本とCD版の作成を行い、文部科学省内原子力関係者等関に配布したいと考えています。

島村原子力政策研究会資料の印刷等を行い関係者等に配布するにあたり、講師の方々及び監修にご協力頂いた皆様に内容の確認、並びにご承諾を頂きたいと考えております。

なお、本資料は販売を目的としたものではなく行政資料としての活用を考えておりますのでよろしくお願い致します。

同封いたしました講演録の内容をご確認頂き、ご承諾いただける場合は、別紙承諾書に記入押印のうえ同封の封書により返送して頂きますようよろしくお願い致します。

ご不明な点がございましたら下記までお問い合わせ願います。

お問い合わせ先

文部科学省研究開発局原子力計画課 矢 野

電話 03-6734-4160

FAX 03-6734-4162 e-mail:t4yano@mext.go.jp

(参考)

録音の文書化に当たっては、重複発言、言い直し、前後倒置、相づちなどは適宜整理し、「あの、まあ、こう、どうも、でして、ですね、やっぱり、ね、よ、ございます」などの冗長語や丁寧語は、できるだけ省略して読み易くした。また、聞き取りにくい部分は、省略するかあるいは前後関係で合理的推論により復元した。発言者名が特定できない場合には、アルファベットで示した。年号は、西暦で統一した。初出の人名は、姓名を記した。

原子力委員会、科学技術庁、日本原子力産業会議、日本原子力研究所、動力炉・核燃料開発事業団の10年史、20年史、30年史、40年史、年表、ハンドブックなど各種出版物、ウィキペディアなどインターネット索引その他文献を参照して、正確を期した。

文献の貸与、あるいは事実関係の解明について、石川 寛、中根良平、浜田達二、原 禮之助、下山俊次、苫米地 顕、石川迪夫、佐藤一男、河田東海夫、木藤啓子、大和愛司、林 主税諸氏の協力を得た。また、開催日について、庄子小枝子氏の協力を得た。

(島村原子力政策研究会資料監修委員会)

島村原子力政策研究会資料（案）

01.	田島英三	仁科芳雄とサイクロトロン	(1989 年) (13p)
02.	伏見康治	学術会議と三原則	(1985 年) (11p)
03.	茅 誠司	学術会議と原子力事始め	(1985 年) (20p)
04.	森 一久	原子力と産業界	(1988 年) (26p)
05.	大塚益比古	伏見先生と学術会議	(1985 年) (26p)
06.	前田正男	原子力と政治	(1987 年) (22p)
07.	山崎貞一	先覚者齋藤憲三	(1988 年) (8p)
08.	堀 純郎	初の原子力予算	(1988 年) (12p)
09.	村田 浩	原子力利用準備調査会	(1988 年) (29p)
10.	神原豊三	初の海外調査団と研究炉建設	(1988 年) (25p)
11.	伊原義徳	初の原子力留学と原子力開発の流れ	(1992 年) (22p)
12.	浮田禮彦	三菱原子力グループ	(1989 年) (8p)
13.	佐々木元増	住友原子力グループ	(1990 年) (27p)
14.	前田七之進	第一原子力産業グループ	(1987 年) (5p)
15.	西堀榮三郎	半均質炉の開発	(1986 年) (11p)
16.	武田榮一	半均質炉計画の見直し	(1986 年) (10p)
17.	島 史朗	新型動力炉の開発	(1987 年) (24p)
18.	沖村憲樹	原子力行政問題懇談会	(1992 年) (17p)
19.	澤井 定	新型動力炉開発と核燃料サイクル	(1990 年) (14p)
20.	板倉哲郎	高速実証炉の建設に向かって	(1990 年) (21p)
21.	谷口富裕	原子力産業と電力産業	(1991 年) (21p)
22.	豊田正敏	電気事業と核燃料サイクル	(1994 年) (26p)
23.	遠藤哲也	原子力外交と日米原子力協定	(1989 年) (16p)
24.	太田 博	原子力外交と日仏原子力協定	(1990 年) (17p)
25.	金子熊夫	原子力外交と核兵器拡散防止	(1991 年) (26p)
26.	坂田東一	プルトニウムと日米原子力協定	(1991 年) (18p)
27.	吉村佐一郎	核燃料輸送と IAEA 規則	(1987 年) (12p)
28.	青木成文	核燃料輸送と規制官庁	(1992 年) (19p)
29.	三宅 申	ウラン濃縮事業	(1987 年) (24p)
	木佐木 裕		
30.	高島洋一	ウラン濃縮技術	(1993 年) (16p)
31.	干場静夫	高レベル放射性廃棄物処理処分	(1990 年) (23p)
32.	島村武久	動力炉・核燃料開発事業団 未萌会	(1987 年) (11p)
33.	渡辺 登	原子力と電力労連	(1989 年) (11p)
	北条 正		
34.	原子力局	原子力開発利用長期基本計画策定	(1956 年) (29p)

計 620p